

30歳から始める

目指すは
三十路の星!

ドリフト 修練塾



photo — 澤田和久 report — 佐藤 圭

今月の課題

3速で コーナーに進入

取材協力 — TKくらぶ 0428-22-8665

▶アンターを出さず
走ったことがない、と
いうほどアンター好き
(?)のマサ。今回は3
速で勢いあるアンター
を見せてくれました。



こんな
カンタンなのに
ナゼできない
かな〜!

◀スピードが速い。安全特急は危
険度も一気に倍増!? 最終コーナ
ーで爽快なスピンを決めるときは、
ガイドレールまでほんの数cm!



さて、今回は中級者のあかし
ともいえる「3速ドリフト」
に挑戦してもらおうぞ! 今までは2
速しか体験していないマサと竹ちゃ
んだけに、いったいどうなることや
ら……?

といつても理屈だけならカンタン
まずは3速で進入し、クラッチ蹴り
で横に向ける。そしてクリップ近辺
で2速に落とし、ドリフト状態
を保ちながら立ち上がる、ただそれ
だけ! でも、コレが実際にやって
みると意外に難しい。
イチバンの難関は速度。2速のと
きよりはるかにスピードが乗って

るので、気持ちに余裕がなくなっ
てしまうんだ。そしてドリフト中にク
ラッチを踏んでシフトダウンするの
も、慣れないうちは大変なはず。
スムーズにヒール&トウができる
人ならばほど難しくは感じないん
だろうけど、なにしろこの2人だから
ね。シフトダウンのタイミングが
余計につかみにくくなり、かなり手
こずっていたみたいだぞ。
気をつける点は、リヤを流し始め
る場所を2速のときより少し手前に
すること。3速ドリフトはスピード
レンジが高いから、いつもより飛距
離が長くなるんだ。それを計算して
おかないと、勢いがつきすぎてコー
スアウトする危険性もあるからね。
そしてリヤが流れたらカウンター
を当てる。ただし3速だとスピード
が乗っているの、最初のカウンター
から次にアクセルを踏むまでに、
少しタイムラグというか、じっと待
っている時間があるんだよ。
慣れてくれれば、この「待ち時間」
にフットブレーキやサイドブレーキ
で速度の調整ができるようになる。
で、クリップ付近でスピードが落ち
てきたのを見計らって、ギヤを2速
に落とす。クラッチはいきなりつな
がずに、ヒール&トウの要領で回転
を合わせながらつなごう。

初めての「3速進入」に体もガチガチ!? 大会出場を目指して特訓はまだまだ続く



3速のままフェイントでリヤを流す



■最初はスピードに目が追いつかず怖いと思うので、慣れるまでは進入時に軽くブレーキを踏んでスピードを調整してもOK。そしてクラッチを蹴るタイミングだが、フェイントをかけるようにステアリングを内側に切り込んで、外側に荷重をかけた状態で蹴ること！そうすればカンタンにリヤが流れてくれるんだ。仮に直進状態で蹴ったとしても、な～んにも起きないぞ。

いつもと同じくカウンターを当てる



■そして、リヤが流れたら素早くカウンターを当てるんだ。3速ではスピードが乗っているので、2速より早めの動作が要求されるぞ。また、3速は2速ほどエンジンブレーキが効かないってことも覚えておこう。一気に外へ飛び出していきような気がして怖いなら、カウンターを当てながらフットブレーキでスピードをコントロールしてみればいんじゃないかな？

2速に落として速度をコントロール



■ココが一番大切なところ。2速にシフトダウンするんだけど、当然リヤが流れた状態で操作しなければならない。スピードが落ちすぎてからギヤを変えると、ドリフトが止まってしまうからね。基本的にはグリフのときと同じ位置、つまりクリップ手前でシフトダウンする。少し早いタイミングでクラッチを踏み、落ち着いて回転をシッカリ合わせてつないであげよう。

そのまま姿勢を乱さずに立ち上がる



■立ち上がりは2速のときと同じ。クラッチをゆっくりと、回転を合わせながらつなげたらできたも同然だ。ていねいにアクセルを踏み、ステアリングを戻しながら立ち上がるんだ。ここで大切なのは「カウンターを戻しながら」ということ。当てたままだとドリフトが止まってしまうし、内側に巻き込んでしまう。ステアリングワークでクルマの位置を調整しよう。

村尾チンゴ師匠、BMWでドリフト!?



●人生初の外車はBMW！シルビアやRX-7もいいんだけど、もう目新しさが無いからね。とはいえ最新型なんて買えるワケもなく、過走行気味の95年式をゲット。車高調にマフラー、おまけに機械式LSDまで入っていたのが購入の決め手かな。これからどんどんイジって走るぜ～！



69点

シフトチェンジのタイミングもスピードコントロールも要修業!



竹ちゃん

●今回は悪戦苦闘だった竹ちゃん。まずは進入での姿勢作り。進入速度が毎回バラバラなので、手前のコーナーはあえてドリフトしないでスピードを合わせるなどの工夫が必要だな。シフトダウンのタイミングも、最後までつかめなかったみたい。それと基本的にスピードを落とすきなので、立ち上がりで動きがカクカクしてしまう。もっとスムーズにギヤチェンジしよう！

進入時の操作はほぼパーフェクト この調子で最後までまとめよう!

●進入から立ち上がりで見れば「10回のうち3～4回はできたかな？」という程度。ただし、進入でスピンすることがないのは良かったぞ。進入してカウンターを当て、じっと待つところまでは完璧だったんじゃないかな？シフトダウンのタイミングはなかなかわからなかったみたいだけどね。難点はシフトチェンジにはかなり気を取られて、ほかの操作が雑だったこと！

坂東マサ



80点

次回予告



大会出場へ向けてワザのレパートリーを増やす!

●連載スタートから10カ月で、かなり中身の濃い練習をしてきたマサ&竹ちゃん。でも、よく考えてみると進入方法ってクラッチ蹴りしか教えていない!? ということで次回からは、サイドブレーキや慣性といった進入のテクニックをひとつひとつ教えていくぞ。チンゴ先生も「ある程度ワザを覚えたら、ちょっとした大会に出してみてもいいかも」と言ってることだしね。さて、なにかから教えよう?

たくさん走りたいならココ「TKくらぶ走行会」にGO!

●今回は富士スピードウェイのドリフトコースで開催された、「TKくらぶ」の走行会に交えてもらったぞ。このイベントは雰囲気アットホームでなじみやすいほか、走行時間がたっぷりあることもメリットだ。また午前と午後では回る方向が逆になるので、一日で2種類のコースを楽しめちゃうというワケ。



▲主催者の神谷さん(中央)をはじめ、運営スタッフも走ることが大好き。ピキナーも大歓迎なので、気軽に参加してみよう!